



たすき
風になびく『襷』をイメージした1号館完成

世羅高
同窓会報

発行
広島県立世羅高等学校
同窓会
世羅郡世羅町本郷870番地



第18号発刊に
よせて



同窓会長 小島 敏文
(昭和44年卒)

同窓会会員並びに地域の皆様方には、ご健勝にてご活躍の事と拝察お喜び申し上げます。また、日頃より本会の運営に格別のご理解ご支援を賜り、心より厚くお礼申し上げます。

今年も同窓会総会が盛大に開催出来ますこと、これも今年の当番幹事の皆様が何回も準備会を開いていただいた結果であり、ご苦勞に対し改めて感謝の意を表する次第であります。

さて、本年は世羅高等学校創立百二十周年を迎えます。明治29年9月22日、千葉三郎先生の創立された私塾甲西会、そして明治

30年、多田ミチ先生の創立された、私立裁縫所が前身であり、旧制世羅中学校、旧制甲山高等女学校となり、やがて統合し、広島県立世羅高等学校と歴史を刻み、この間、多くの有為な人材を輩出してまいりました。又、特筆すべきことは世羅高等学校陸上競技部の長年にわたる活躍であります。昨年は、ついに全国高等学校駅伝競走大会において、男女そろって優勝を達成しました。一つの学校で駅伝という伝統を守り続けると同時に、男女同時優勝は、まさに快挙であります。

振り返って、今から16年前の石川敏浩校長先生の出来事を機に、世羅高校復活に取り組み、一つの目標として、全国高校駅伝大会に於いて、男女アベック優勝することを目指してまいりました。当時平成12年、13年は、県大会予選において優勝をのがし、手探りの苦しい時期でありました。(女子部はまだ出来ておらず)そこで一計を案じ、平成14年に、県立高校としては全国で初めてのケニアからの留学生受け入れを決断したのであります。ケニア人留学生が入学して、全国大会で男子が優勝するまでに、6年の歳月がかかったことを思い出します。留学生受け入れに批判もありました。しかし日本人選

手の励みにもなり、模範にもなり、教育的効果は充分あったと感じております。世羅高創立百二十周年にあわせて、アベック優勝を、と考えておりましたが、本当に嬉しい誤算でありました。まさに創立記念にふさわしい出来事となったことを感謝しております。

私は、男女アベック優勝が決まった瞬間、心の中で、石川敏浩校長先生に、晴れて、世羅高等学校は復活しました、とご報告申し上げたのであります。歴代の校長先生をはじめ教職員の皆様のご努力に感謝申し上げますと共に、同窓会の皆様、地域の皆様のご支援とご協力に心から感謝を申し上げます。

これからも様々な分野において生徒が活躍し、地域にかわいがられ地域になくてはならない学校として発展していくことを願っております。皆様方の一層のご支援をお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。



1号館玄関

創立百二十周年 特集号発刊に寄せて



校長 堀 健太郎

世羅高等学校校長二年目に入りました堀健太郎です。よろしくお願ひします。

同窓会の皆様には、平素から本校教育活動に多大なる御理解と御支援を賜り心からお礼申し上げます。

本校は、明治29年千葉三郎先生が世羅の地に私立学校甲西会を設立され、翌年多田ミチ子先生が甲山の地に私立裁縫所を開設されて以来、名称変更、学制改革による統合、学科の改編などの幾多の変遷を経て、今年で学校創立百二十周年という輝かしい歴史を刻むに至りました。現在記念式典(平成28年9月24日)に向け、同窓会の皆様を中心に準備を進めております。過去一世紀以上にわたり、二万三千名を超える優秀な人材を国内は元より世界各地に送り出し「世羅高」の名を揺るぎ無きものとしていただきました。各界で御活躍されている同窓生の皆様に敬意を表するとともにその功績に心から感謝いたします。また、昭和

40年代に建築された本館が、今年2月には世羅台地を囲む山並みと風にたなびく夕空をイメージした素晴らしい新校舎に生まれ変わりました。ぜひ御来校ください。さて、記念すべき百二十周年に

花を添えるべく平成27年12月に京都の都大路で開催された全国高等学校駅伝競走大会において、男子が単独最多9回目の優勝を連覇と大会新記録で成し遂げ、女子は10回目の挑戦で、最終区の劇的な逆転により初優勝を飾り、半世紀を超える大会の歴史で、史上2校目となる男女優勝という偉業を達成しました。このような結果を成し遂げられたのも同窓生をはじめとした地元世羅町民の方々の多大な御支援の賜物であります。本当にありがとうございます。

広島県教育委員会からは昨年度に引き続き、広島版「学びの革新」アクションプランに基づく新たな教育を創造するための「学びの変革」パイロットハイスクール県内18校に指定されるとともに、陸上競技部は全国的な成果から「競技力向上拠点校」として指定を受け、校訓である「文武不岐」を正しく実践している本校には県民からの大きな期待がかけられています。

日々の教育活動においては、普通科、農業経営科、生活福祉科の3学科ともきめ細やかな教育を実践しています。進学実績では毎年国立大学をはじめとした難関大学に数多く送り出し、農業経営科

は、世羅台地の基幹産業である農業の担い手を地元へ送り出すとともに、生活福祉科では、年々需要が増大している福祉部門で県内唯一の学科として県内外に優秀な人材を送り出してまいります。

教職員一同全ての教育活動において日本一の実現をめざし、コンプライアンス(法令法規の遵守)、ホスピタリティ(生徒との親近性)イノベーション(教育の革新性)を基底に全身全霊で取り組んでいます。同窓生の皆様におかれましては今後とも御支援・御鞭撻を賜りますようよろしくお願いいたします。

平成27年度 同窓会総会報告



平成27年度当番幹事長 大谷 敏朗 (昭和48年卒)

世羅高校同窓会の皆様にはご健勝のことと拝察いたします。昨年の同窓会・懇親会へは多数のご参加を頂き有難うございました。

今年の同窓会総会・懇親会の開催は選挙の関係で日にちが変更となり、7月16日に開催されます。

平成23年度同窓会改革元年から五年、世羅町甲山農村環境改善



センターで行われるようになって四回目の当番幹事長を引き受けたいわけですが、私自身この場所で開催されるようになって私共「世羅郡飲食組合」が料理と宴会サービスをやらせていただいた関係上、少しは同窓会・懇親会の流れが分かっているつもりでありました。

27年度の当番幹事の皆さんHグループ(38年卒・48年卒・58年卒)を中心としたメンバーが力を結集したからこそなす終えることができました。26年度の宗岡幹事長を中心とした幹事の助言と協力がなければ今まで最大の260有余

株式会社 もみの木畳店

世羅郡世羅町小世良380

TEL (0847) 22-1426

FAX 0847-22-1893

http://www.mominoki-tatami.com

出光興産株式会社販売店

芸備燃料株式会社

代表取締役 坂 東 辰 男

本社
〒722-1112 世羅郡世羅町本郷812-4 TEL 0847-22-2121

世羅バイパスS
〒722-1112 世羅郡世羅町本郷654-1 TEL 0847-22-1151

世羅配送センター
〒722-1111 世羅郡世羅町寺町1871-1 TEL 0847-22-1136

名の方々のお世話はできなかつたように思います。改めてこの五年間の先輩幹事の皆様のご苦労と培ったノウハウの蓄積に感謝したいと思ひます。

今回特に、同学年はもとより十年前後先輩・後輩の方々と話し合い苦労を共にできたことによつて、本当の意味での同窓会のつながりができたように感じます。当番幹事は苦労が多いけれど、世羅高校同窓生の輪が広がる大きな収穫もあるのでやりがいがあります。

今年度は玉浦幹事長(49年卒)を中心に今まで培つたつながりを大切にして取り組んで頂きたいと思ひます。

最後に同窓生の皆様のご健勝と更なるご発展を心からお祈りいたします。

母校世羅高校、今年創立百二十周年を迎えます



世羅高校創立百二十周年記念事業実行委員会

実行委員長 瀬尾 圭三 (昭和36年卒)

同窓生の皆様、いかがお過ごしでしょうか。今年の同窓会「総

会・懇親会」は7月16日に開催いたします。玉浦洋明幹事長(昭和49年卒)のもと幹事グループG・Hの皆さんが当番幹事として懸命に取り組んでいただいております。今年と同窓会改革六年目になります。同窓会としてはまだまだ多くの課題が山積してありますが、「総会・懇親会」は、これまで過去五年間の幹事の皆さんのご尽力により準備・運営等ある程度体制が整つてきたのではないかと安堵しております。多くの同窓生の皆さんのご参加を期待しています。

さて母校世羅高校は、今年創立百二十周年を迎えます。世羅高校は県内の県立高校の中では五番目に古い学校で、まさに歴史と伝統に輝く学校です。私たちは大いに自覚と誇りを持ちたいものです。今日まで発展し続けることができ

ましたのは、先輩諸氏の母校愛に満ちた活躍、そして地域の皆様方の絶大なご支援の賜であり心から感謝申し上げます。同窓会・学校・PTA三者が、創立百二十周年を記念すべき年にしなければならぬとの申し合せにより「世羅高校創立百二十周年記念事業実行委員会」を平成26年12月に設置し、三者が一丸となつて記念事業に取り組んでおります。実行委員会組織の詳細は昨年の同窓会報で報告いたしましたので、今回は、これまで各専門分野別に取り組んでいただいている内容の経過報告をいたします。

記念誌編集専門委員会は、『創立百二十周年記念誌』の編集作業を行つており、大変なご苦労をおかけしています。過去、記念誌は百周年記念事業の際に発行されており今回が二回目の発行です。記念誌発行は百二十周年記念事業の柱の一つに位置付けております。11月に配布する予定です。期待していたかと思ひます。

記念事業専門委員会は、事業の一つとして校舎本館玄閣上部に『校章・校名』を設置します。(本館校舎が3月に落成しましたので、既に設置いたしました。) また、創立百二十周年を記念して『記念品』を考案し、全校生徒並びに事業にご協力を賜りました方々へ贈呈させていただく予定です。

式典・祝賀会専門委員会は、9月24日に記念式典を挙行いたしますが、厳粛かつ感動的な式典になりますよう、準備に取り組んでいただいております。式典は学校の体育館で行い、式典が終了しましたら、せら文化センター・パストラルホールにおいて『広島交響楽団』による記念演奏会を行います。世羅高校吹奏楽部の生徒さんとコラボレーションも予定しております。

同窓生の皆さん、ご支援いただいております地域の皆さんには、式典、演奏会へとご案内をさせていただきたいところでありますが、いずれの会場も収容人員に限度があり、ご希望の皆さん全員ご参加いただくことは不可能で、実行委員会と

しまして最も苦悩しているところでございます。どうかご理解をいただき、ご協力のほど何卒よろしくお願ひいたします。

募金活動専門委員会は、記念事業全体の予算の策定、資金調達の中心的役割を担っております。同窓生の皆様、地元企業の皆様をはじめ地域の多くの皆様にご寄付のお願いをしています。既に多くの皆様に浄財を賜りまして、心から御礼を申し上げます。なお、事業達成のためには更なるご寄付のお願いをしなければなりません。同窓生、地域の皆様方のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

創立百二十周年は、学校・同窓会にとりましては大きな節目となります。同窓会・学校・PTA三者が結束して、記念事業の成功に向け全力で取り組んでまいります。この度の周年事業が母校の活性化更なる発展に繋がることを念じています。皆様のご健勝、ご活躍を心から祈念申し上げます。

同窓生だより

二六同期会

金田 東二 (昭和26年卒)

昭和26年3月卒業同期は普通科・生活科の一七七名でした。私たちの学校生活は戦中戦後を通しての波乱に満ちたもので、小

OA機器・オフィス家具・事務用品
教材教具・教科書・学用品

(株)森田尚文館

TEL(0847)22-0136
FAX(0847)22-3051

広島県世羅郡世羅町西上原 535-1

手造りのおもてなし
法事・慶弔料理・仕出し・宴会の予約承ります
ファミリーレストラン

タイニー

世羅郡世羅町西上原483-3
TEL(0847)22-0322 FAX(0847)22-0405
http://www.fr-tiny.co.jp/

学校三年生の時、太平洋戦争勃発、昭和20年終戦の年にそれぞれ国民学校高等科、県立甲山高等女学校、県立世羅中学校等に進級進学、昭和23年県立世羅高等学校・県立甲山高等学校に入学、一年後の昭和24年に高校再編成で合併し現在の男女共学の広島県立世羅高等学校が誕生しました。

卒業して、進学・就職・地元で家業にと、全国各地に別れましたが、それぞれクラス会等で連絡は途切れることなく、敗戦の困窮期・復興期・高度成長期・バブルと長期停滞期を懸命に走り抜けて参りました。

平成4年に還暦を迎え、世羅在住の方の呼びかけで第一回目の同期会を開催しました。「二六会」総会と名付け、甲山農村環境改善センターを会場に恩師の藤井志郎先生・千葉清士先生・内田正先生を迎え八十人が集まりました。

その後は二年毎に各地で開催し、甲山ふれあいの里・東京総会・広島総会(古希)・大阪総会・福山総会・福岡総会(喜寿)・三原総会(傘寿)と会を重ねてきました。

平成24年の尾道総会で「高齢化が進む中で開催が難しくなった」と第九回が最終総会になりました。但し、その後も毎年5月に有志の集いを開催し「二六会」は現存しています。

今年は5月15日に三原で開催し二十名が参加し「来年も会いましょう。」と話しました。話題は母校の駅伝の活躍、当時、体



世羅高校26年三原会

育で陸上競技専門の内海富貴郎先生が就任され、全校生徒に「走る」ことを指導奨励されました。

体育の時間は、先ず全員が学校の周辺コースを走り、それから授業の開始でした。

これを契機に、末国・岡河・谷敷等の長距離ランナーが輩出しインターハイで活躍されたのです。

私たちの一つ上・同級・一つ下が大阪市で開催された第一回・第二回全国高等学校駅伝競走大会に連続優勝して、同期として誇りに感じます。

余り知られていないことは、同期の女子ソフトボール部が広島県大会で優勝し中国大会に出場したことです。当時は道具も満足になくてグローブを使うのは捕手と一

僕が世羅高校に在籍したのは、昭和30年から33年迄である。卒業して60年余りの歳月が流れた。

母校の高校駅伝全国大会(男子)は、一年生の時、全国大会に出場したが惨敗であった。二・三年生の時は県内予選で敗れた。当時の監督が「二時間十七分そこそこでいけば勝負できる」と言われていたのを覚えている。

昨年暮れの全国大会で、男子は二時間一分そこそこで都大路を走り抜け、「神の領域」と讃えられた。更に、女子も初優勝を飾り、アベック優勝で花を添えた。特にアンカー向井選手の伸びのある走りは、テレビの前の駅伝ファンに大きな感動を与えた。

四年後には東京五輪が開催される。世羅高校の選手が、ぜひ参加して欲しい。因みに、世羅高校が創設された百二十年前に、第一回

眩しい母校。
愛しい世羅

大原 重徳
(昭和33年卒)

墨手だけで、他の選手は素手で練習していました。

現在母校は、進学校としても頑張り、新校舎も建設されました。校訓「文武不岐」のもと、一層の発展を祈ります。

同期会として母校を誇りに思いエールを贈ります。(広島市在住)

アテネオリンピックが開催された。僕が世羅町を離れ、広島に出たのは、高校卒業して一年経った頃であった。

会社に入り同僚に「出身は世羅町」と言うと「世羅は広島県にあるん？」とよく聞かれた。今は花や野菜ですつかり有名になり周囲の人間で、世羅町に行ったことのない人は殆んどいない。

最近、近くのスーパーの野菜売り場で、生産地や生産者を明記したものがあつた。つい買ってしまふ。懐かしいのである。嬉しいのである。何故か誇らしいのである。

(呉市在住)

思い出深い
高校時代



杉森 義人
(昭和36年卒)

世羅高校創立百二十周年、さらに昨年は全国高校駅伝大会男女W優勝、まことにめでとうございます。

私は昭和36年3月に卒業しました。卒業してゆうに半世紀が過ぎましたが、昨年の駅伝大会で、男子も女子もそれぞれ全国第一位

スーパーマーケット

三谷屋

御調店・大和店・パオ店

進物の玉浦

☎0847-22-1107
FAX.0847-22-1567

〒722-1121
世羅郡世羅町西上原6-12-2
営業時間/AM8:00~PM7:00
年中無休

でテーブル切ったあの瞬間に出会い、大きな喜びと誇りをもつことが出来ました。

思い起こせば入学当初、道に沿ってそびえる二階建の威風堂々とした木造校舎に、そこで学ぶことの喜びを感じたものです。特に理科系の授業を受けた階段教室には驚くと同時に、高校生になったことの実感を覚えました。また、先生にも個性的な方がたくさんおられました。中でも数学の先生で毎時間チヨークだけを持って来て教える方もおられました。生徒も先生方の努力に応えるよう、試験の前など目を赤くしておりました。生徒はみな素直でしたが、教室移動をするとき、男子の多くは帽子をかぶったまま廊下を闊歩したものでした。これは、青年期の自己主張だったと思います。

年一度の学園祭では、音楽部に歌のとび切り上手な生徒が一人いて、その人が歌う時間になると校内にいる生徒は一人残らず講堂に集まったものです。今のライブを思わせるものでした。

就職して37年間仕事に力を注いできましたが、その礎は、行きは一時帰りは一時二十三分の道のりを夢とロマンを抱きながら自転車を通った世羅高校にあるように思えます。

学び舎のあった大田の庄も、今は大きな変容を undergone しております。しかし、世羅の台地を見下ろす今高野山は雄として動かず、現在も当時の姿で世の移り変わりを温かく見守り続けております。そして大地を流れる大田川は悠久の流れの中に四季折々の彩を川面に映しております。当時の姿を残す場所にたたずむとなにか心が安らぐのです。

歳を重ねると、とかく過ぎた事のみをたどりがちですが、これではと思い、できるだけ前に向いて思いをはせるよう努めております。最後に、我が母校が永遠に文武ともに発展することを祈念します。

(三原市在住)

支部だより

東京校友会

創立百二十周年 特集号に寄せて



東京校友会会長 吉宮 孝治 (昭42年卒)

東京校友会は、会員相互の親睦及び母校との連絡等を目的として、昭和38年に設立され、現在五十名の会員を擁しております。私達は、百二十年の長い歴史に培われた輝かしい伝統に誇りを持



ち、会員同士はもとより、母校と会員を更に太い絆で結び、世羅高校が今後一層発展を続けるために、些かなりとも寄与できるような活動しております。

本年の4月10日には、会報「とうきよう世羅」を全会員にあてて発送し、9月に開催される世羅高校創立百二十周年の記念事業の概要を紹介すると共に、その企画の「趣意書」及び「募金等の申し込みのお願い」等書類一式を同封し協力要請を行いました。同月24日には、昨年の全国高校駅伝大会における、歴史的な男女アベック優勝を特集した会報の記念増刊号を発刊しました。昨年の総会では、創立百二十周年記念事業のために、東京校友会

から堀校長先生に寄付金を手渡しました。本年の総会は、11月20日、東海大学校友会館(霞が関ビル)において開催する予定です。陸上競技部への応援賛助金では、毎年多くの会員から浄財が寄せられており、本年も引き続き募集しております。12月には京都の西京極陸上競技場で応援することを楽しみにしております。

近畿同窓会

創立百二十周年を 迎える

「心の準備を」



近畿同窓会会長 松尾 千九三 (昭25年卒)

本年9月22日は伝統ある世羅高等学校創立百二十周年を迎えます。創業者千葉三郎先生はじめ有志先輩の御努力によって明治29年9月22日私立学校甲西会として創立されて百二十周年を迎えます。校訓「文武不岐」の精神が一貫して今日まで、あらゆる活動分野で着実に成果を上げています。これもひとえに、先人先輩が我々

世羅高校 東京校友会顧問
公益財団法人 重政教育財団理事長

豊田 祥明 (昭和29年卒)

財団本部 〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-10-1
有楽町ビル707号室
TEL03-3201-2345 FAX03-3215-3446

記念写真・証明写真・空撮
カラープリントスピード仕上げ

橋本写真館

世羅郡世羅町東神崎 355-4 TEL(0847)22-0157

http://www.hashimoto-photo-jp/ または 世羅 橋本写真館 検索

後輩のことを思う有難い想いと受け止めて時代の流れに逆らうことなく世の流れに順応しつつ自己の力を出し切ることが必要ではと思ひます。そうした思ひは不思議と先人先輩の想いと合致してすべてがスムーズに進み「三方善」と云われる大自然の法則に合致すると思ひます。この法則には一切無理無駄がなく古来より万人が認めているところではあります。(人生訓の中より)出来る限り私も無理無駄のない人生を求めています。まだまだ道半ばです。さて、我々にお手伝いすることが多くあるのではと思ひますが何なりと申しつけ下さい。出来る限りにおいてお手伝い申します。

学校だより

①進路指導部

昨年度(平成二十七年)卒業生の最終的な進路は、四年制大学五十九名、短期大学十一名、専門学校三十九名(看護・医療系を含む)、就職(公務員を含む)は三十四名でした。地元広島大学へ三名が合格するなど、国公立大学の合格者はのべ十三名、早稲田大学などの難関私立大学へはのべ七名が合格しました。これは普通科生徒の四人に一人が国公立大学もしくは難関私立大学へ合格したことになります。

就職に関しては、希望者全員

が就職を決めることができました。特筆すべきことに、一般就職を希望していた生徒二十九名全員が最初に行われた一度目の採用試験で内定をいただくという快挙を達成しました。このことは広島県教育委員会からも高く評価され、県内高等学校の進路指導主事が集まる就職促進会議でその取組を発表する機会を与えられるほどでした。早期に「働く心構え」を持たせるよう面談を繰り返し、面接試験対策に十分時間をかけるなど、丁寧に指導を繰り返した取組が成果となつて表れたのではないかと考えます。

近年は国公立大学だけでなく、多くの私立大学もセンター試験を利用した入試を行っており、全国で五十万人超がセンター試験を受験しています。昨年度は本校からも四十八名が受験しました。今回の試験から新課程に完全移行し、一部で新しい傾向の出題もありました。そのため、全国的に理系生徒が苦戦を強いられる結果となつたようです。そのような状況の中で、生徒たちは最後までよく頑張つたと思ひます。卒業式が終わつた後の国公立大学入試後期日程(三月十二日)まで粘つて頑張る、合格を勝ち取つた生徒も多くいます。

かし、即戦力として活躍してくれることと期待しています。また、将来は医療や介護の仕事を目指し、看護や介護の専門学校へ進学を決めた生徒も多くいます。命を預かる責任の重い仕事を目指して進学していった生徒たちをはじめ、希望に向かつて進路を決めて行った生徒たちを見て頼もしく感じています。

今年度も、昨年度までと同様、放課後補習や長期休業中の補習、世羅塾など学力を高める取組を行つてまいります。さらに、世羅町から様々な支援をしていただくことが決まり、学力向上事業として休日を利用し、有名予備校の講師に講座を開いていただく予定となつております。希望の進路100%実現を目指し、これからも努力を続けてまいります。今後とも御指導、御鞭撻をよろしくお願ひいたします。

②農業経営科

農業経営科の目標は、農業に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得すること、チャレンジ精神や地域の農業や社会に貢献できる実践的な態度を育てることとしています。

教科学習では、第一学年では農業の基礎的科目を学習し、第二学年からはより専門性を深めるため類型別(地域営農類型、六次産業類型)に分かれ学習の深化を図っています。第三学年では、第



地域の各農園で摘果実習

一学年、第二学年の学習を基に地域や農業に関する課題を解決する調査や研究活動を行っています。昨年度の教科「課題研究」の研究題目は「世羅産大豆の商品化に関する研究 Part1」世羅産大豆を使用したみそ作成キットの開発「生ごみの堆肥化への挑戦」生ごみ堆肥で育てる野菜「地産地消と六次産業化を目指して」やまなみ街道(尾道道)の開通を通じて「オゾン水が植物に与える影響Part1」でした。この様に学習の取組も充実し、農業の研究や実践活動を通して、生命の大切さや地域に愛着心を持ち地域貢献に取り組み積極的な姿勢も見えてきました。

最新設備の食品製造実習室では、ビスケットやジャムなどの加工・製造は勿論のこと、地域の農産物を使用した商品開発にも取り組んでいます。

感性が光るアートな写真
残しておきたい思い出の写真

アート写真光房 **阿部写真館**

世羅町本郷
TEL:0847-22-0213

<http://www.cameraman-abe.com/>
Eメール: info@cameraman-abe.com

いつでも電話でお気軽に
総合建設業

(有)坂上建設

TEL 23-0231(代)
世羅町宇津戸3453-1 FAX 23-0232
夜間 23-0511

組んでいます。農場では、新設された環境制御温室や農業実習室を活用しながら、ブドウ根域制限栽培、イチゴの高設栽培、ブルーベリーの栽培に取り組んでいます。また、今年度は「せら梨ブランドを守るプロジェクト」として、幸水農園、大豊農園、世羅町役場、東部農業指導所と連携して、本学科の生徒全員が各農園で摘果実習等を行いました。

進路では、多くの農業経営科卒業生が地元で活躍し、中でも昨年度は株式会社北川鉄工所や日東電工株式会社尾道事業所、尾道市農業協同組合等への就職を果たすことができました。

これらの取組を通して地域を盛り上げ、地域を活性化し地域に愛着心をもった生徒を育てたいと思います。先ずは一步ずつ、そして、「農業科」の先輩方が築かれた歴史に近付けるよう、努力していきたいと思えます。

③生活福祉科

生活福祉科では、調理、ファッション、情報処理、保育、福祉ビジネスマナーなど、生涯にわたって必要となる生活に関する知識と技術を身に付け、生活産業のスペシャリストとして社会に貢献できる人材を育成しています。法改正により、昨年度の卒業生で終了した介護福祉士国家試験受験資格の養成が、今年度の新入生から再実施できるようになり、介護職員



全国高等学校総合文化祭吟詠剣詩舞プレ大会での着物着付けショー

初任者研修・情報処理検定・サービス接客検定・家庭科技術検定など、高度な資格の取得を継続して実施するとともに、地域交流・ボランティア活動を通して働くことの大切さや喜びを学び、高齢者や子どもとの触れ合い活動を通して、地域の福祉に貢献できるように取り組んでいます。

また、昨年度よりサービス接客検定検定準一級を取得した生活経営類型の生徒達が、近隣の中学

校へ出向き、中学生に面接マナー指導を行うという新たな取り組みも行っています。夏休みには、一年生が三日間のインターンシップ(就業体験実習)、福祉類型では二年生が五日間、三年生が十日間の介護施設実習に行かせていただきます。同窓会や地域の皆様には大変お世話になります。

尚、7月30日(土)・31日(日)広島市内で開催される第40回全国高等学校総合文化祭では、ピンワークショー(30日十時四十分から紙屋町シャレオ地下中央広場)と着付けショー(31日十一時三十分から広島県民文化センター)を披露します。ぜひ、足をお運びいただき、生徒の活躍をご覧ください。

④全国高等学校 駅伝競走大会

男女同時優勝の 快挙達成!!

男子は、一昨年の第65回大会で3年ぶり8度目の優勝を飾ることができました。昨年は、優勝メンバー10名中7名が残り、第1回・第2回大会以来の連覇、そして「神の領域」と言われた高校国際最高記録の更新を目指して、一年間努力を重ねてきました。

レースを振り返ると、1区中島が区間3位と好発進し、2区井上が1.2km地点で首位に浮上。3

区のカマイシが2位の仙台育英に1分の差を付け、4区吉田も差を広げ、2位とは1分28秒差。連覇はほぼ確実となり記録の更新が目標となりましたがこの時、高校国際記録からは16秒遅れていた。しかし5区山口、6区植村が連続区間賞の快走で、アンカーの新迫主将に6秒の貯金を作って襷をつなぎました。新迫は部員全員の思いの詰まった襷を胸に、連覇、高校国際最高記録更新、そして大会史上最多の9度目の輝かしい優勝テープを切りました。2時間1分18秒(高校国際最高記録、大会新記録)2位との差1分48秒、という完勝でした。



写真提供/月刊陸上競技

女子は、9年連続で出場してきた全国大会で、毎年のように目標としていた8位入賞に届かず、一昨年の10位が最高の成績でしたが、10度目の出場で初入賞が優勝という大躍進を遂げることができました。今まで「目標は8位入賞」と言っていましたが、秋になると「目標は優勝」と小吉川主将の言葉が変わったように、選手

株式会社 實徳コーポレーション
 [総合警備保障事業]
 TEL (0847) 25-5271]

株式会社 J T C
 [人材派遣事業]
 TEL (0847) 22-0500

〒729-3302 広島県世羅郡世羅町川尻1288-1
 FAX (0847) 25-5272(共通)

トヨタ車のことなら 指定民間車検場 スズキサービス指定工場
 トヨタサービス指定工場 ボディーフレーム修正工場

アラタニ・オート(株)
 TEL(0847)22-0279 FAX(0847)22-0977

TOCHU GROUP スズキ専門店

スズキオートSHOP
 TEL(0847)22-0279 FAX(0847)22-0977



写真提供/月刊陸上競技

の意識が高まり「優勝できる」と信じたことが勝因の一つだと思います。

レースを振り返りますと、1区小吉川は終盤の西脇工との激しいスパイク合戦を制し、トップで2区の大西に棒を渡しました。1年生の大西は区間7位と良く粘り、2位で3区の長尾に棒をつなぎました。長尾はしっかりと先頭を走り、2位で4区の浅田に棒をつなぎました。浅田は自分の走りができず4位に後退し、先頭と35秒差で5区向井が走り出しました。徐々にペースを上げていった向井は着実にその差を縮め、残り1.3km地点で先頭に立ち、1時間07分37秒で初優勝のゴールテープを切りました。

今年も有望な一年生が多く入部していますので、上級生ともども今後さらに精進を重ね、日々の練習や生活をより充実したものに、本校にしか与えられていない男子3連覇、女子連覇という目標に向けて努力していきたいと思えます。

同窓生の皆様には、後援会へ

の寄付等で大変お世話になっておりますが、今後とも絶大なご支援をいただきたいと思っております。どうぞよろしく願っています。



写真提供/月刊陸上競技

⑤ NPO法人世羅国際交流 教育ネットワークと連携したTD校との国際交流について

世羅高校は平成22年1月にアメリカ合衆国ニューヨーク州にあるソントン・ドノヴァン校(TD校)と姉妹校協定を締結しました。世界平和、地球環境を共通のテーマとして、相互に留学生を派遣し生徒同士が交流を深めることを目的として、平成22年3月から交流を始めました。その活動を

支える為、両校の姉妹校締結の目的に加えて日米の国際交流友好親善、国際相互理解の推進、健全な青少年の育成等に関連した事業の円滑な推進等の支援や世羅高校のみならず町内の幼・小・中学校も含め世羅町挙げて地域全体の国際交流の推進に対して支援していくこと等を目標に、同月、「非営利活動法人 世羅国際交流教育ネットワーク」が設立されました。地域の有志の方が会員となつてこの国際的な交流活動を支えてくださっています。世羅高校がこの交流を通して、地域全体の国際交流の掛け橋になることを願っております。



平成22年3月に本校の生徒四名がTD校へ二週間短期留学し、本格的な相互訪問がスタートしました。以降は、毎年TD校から留学生を受け入れるとともに、本校からTD校へ生徒が二週間程度の短期留学を行っています。昨年度は七名の生徒が短期留学に参加し、自分たちの英語力の向上を図るとともに、外国の方とコミュニケーションをとったりNYでの生活を体験したりすることを通じて異文化を肌で体験することができました。価値観の変化や平和への思いなど、人間的にも大きく成長することができました。

⑥ 世羅高校国際交流 推進会議について

この推進会議は、ケニア共和国をはじめとする諸外国との国際交流活動を通じて、教育及びスポーツ、社会教育、文化活動等の相互交流を推進し、世羅台地を中心とする地域の活性化を目的に結成さ

れ、以来十五年間、ケニア共和国からの留学生の受入れ、台湾「大同高級中学」との交流を進めてきました。おかげさまで推進会議の活動も円滑に進み、着実にその成果も現れています。

とりわけケニア人留学生の活躍は目覚ましいものがあります。生活態度がまじめで、陸上競技に対する情熱はすばらしいものがあります。日本人選手が受ける影響も大きく彼らと練習を共にすることで、競技力・人間性が向上しているものと思えます。

編集後記

「会報第18号」をお届けします。今年が母校創立百二十周年にあたり、記念特集としました。

ご多忙中ご寄稿下さいました皆様に厚くお礼申し上げます。今後とも積極的な情報提供、ご寄稿をお願い致します。母校のさらなる発展と皆様のご健勝をお祈り致します。

(広報委員会)